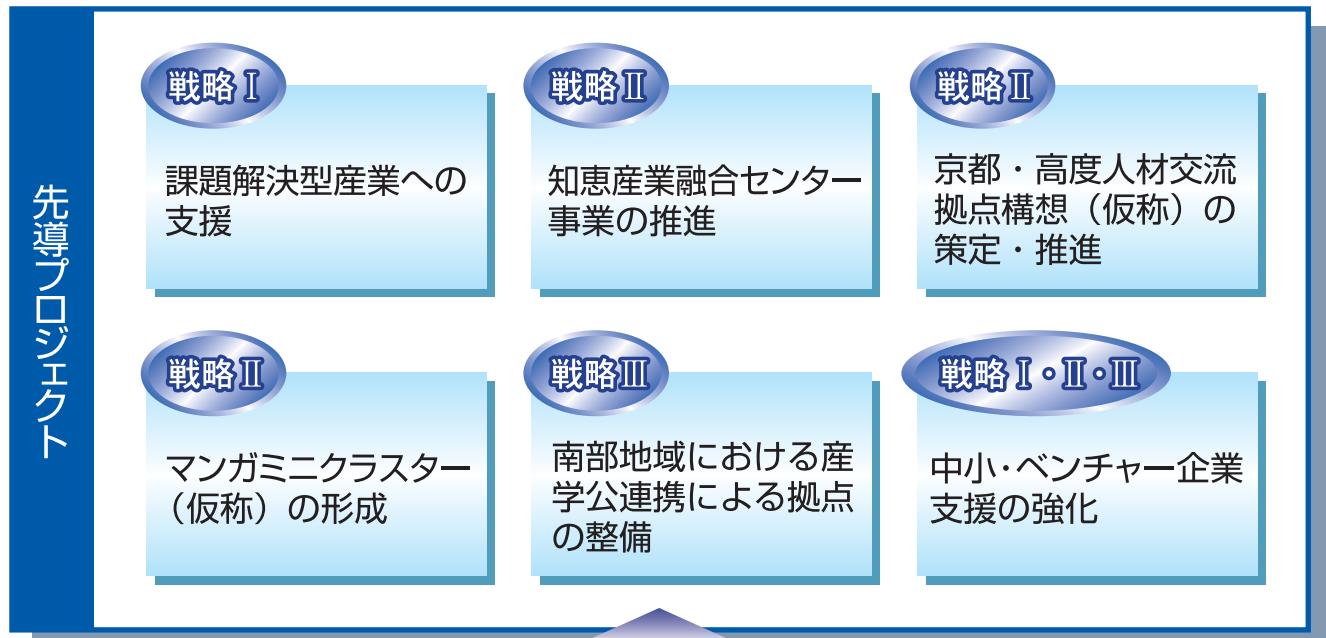


第8 先導プロジェクト

3つの重点戦略を推進するために、今後5年間に取り組む主な施策（後述）の中から、具体的に優先実施すべき事業を「先導プロジェクト」として掲げた。



今後5年間の主な施策

戦略Ⅰ イノベーションによる高付加価値のものづくりとマーケティング

- 1 多様で活力あるものづくり企業の育成と発展の支援
 - (1) 中小・ベンチャー企業の新事業創出支援策の充実
 - (2) ものづくり基盤技術の高度化、次世代産業への展開の支援
 - (3) 新しい事業やサービスを生み出す情報通信産業の振興と利活用促進の支援
- 2 産学公の連携による成長分野における展開（課題解決型産業への支援）
 - (1) 環境・エネルギー関連産業の育成
 - (2) バイオ・ライフサイエンス（医療・介護・健康）関連産業の育成
- 3 グローバル市場への展開支援（中小企業の国際化支援）

戦略Ⅲ 新たな価値の創造による知恵産業の推進

- 1 国内外を引きつける京都のソフトパワーを生かした産業の創出
 - (1) 知恵産業の振興
 - (2) 研究環境の国際化と人材育成の強化
 - (3) 伝統産業の活性化と新たな展開の推進
- 2 コンテンツ産業の振興
 - (1) 次代のコンテンツ産業を支える人材の発掘と育成
 - (2) ビジネスマネジメントの構築

戦略Ⅳ 広域的視点に立った事業環境の整備

- 1 産業支援機関の機能強化と広域エリアでの連携・支援の展開
 - (1) 産業支援機能の強化
 - (2) 産学公連携拠点のネットワークの構築
- 2 地域の特性を生かした立地環境の整備
 - (1) 国際競争力を高める環境整備
 - (2) ものづくり都市を支える活力ある工業地の形成
 - (3) 企業立地支援

◆課題解決型産業への支援 【戦略Ⅰ】

京都の強みであるナノテクノロジーやバイオテクノロジー（生物工学）等の先進技術を生かし、「環境・エネルギー」や「バイオ・ライフサイエンス」分野など課題解決型成長産業への「選択と集中」、「重点支援」に取り組み、京都環境ナノクラスターの自立的な形成を推進するとともに、医工薬連携に基づく革新的な医療技術の研究開発等による新事業及び新産業の創出を支援する。

<推進事業>

○ 地域産学官共同研究拠点整備事業^{*}による高度研究機器の設置・運営

地域産学官共同研究拠点整備事業により配分される高度研究機器を活用して、桂イノベーションパーク及び京都リサーチパークにおける、先端光加工プロジェクト^{*}及びバイオ計測プロジェクト^{*}の展開による、産学公共同研究や人材育成事業に取り組む。

○ 環境・エネルギー分野における自立的なクラスター形成推進

環境・エネルギー分野の新技術の研究開発や事業化に取り組んできた京都環境ナノクラスターについて、自立的なクラスター形成を推進し、事業の中で創出された研究開発成果を発展させ、その事業化を支援する。

○ バイオ・ライフサイエンス分野における医工薬産学公連携支援事業の推進

京都市医工薬産学公連携支援オフィス^{*}を京都大学先端医療機器開発・臨床研究センター内に移転し、医療産業振興のための連携支援事業を本格展開する。さらに、大学研究者及び中小・ベンチャー企業を対象に、革新的な医療技術に関する研究開発活動への助成等を行う。

※地域産学官共同研究拠点整備事業

独立法人科学技術振興機構が実施する事業。地域がそれぞれの特色を生かした産学官連携拠点を整備することにより、地域発のイノベーションの創出を推進するもので、科学技術による地域活性化を図ることを目的としている。

※先端光加工プロジェクト

京都大学による三次元加工技術の成果を中小企業に移転し、その企業の協力を得ながら地域イノベーションの創出を目指している。

※バイオ計測プロジェクト

研究機関のもつ基礎技術と先端分析技術、企業のもつ製品開発能力の融合により、食品・試薬・計測機器産業のイノベーションの創出を目指している。

※京都市医工薬産学公連携支援オフィス

平成22年4月にベンチャー育成支援施設である「クリエイション・コア京都御車」（上京区）内に設置。医療機器や医薬品の開発に関わる専門コーディネーター、アドバイザーによる支援活動を実施している。

◆ 知恵産業融合センター事業の推進 【戦略Ⅱ】

京都の伝統技術と先端技術を融合し、それぞれの技術を効果的に生かした新技術・新製品の開発による新たな「京都ブランド」の創出と、イノベーションを支える人材を育成するとともに、開発技術の市場分析やマーケティング情報の提供などを通じて、企業の販路開拓を促進する。

事業の推進に当たっては、地元経済団体との密接な連携の下、取り組んでいく。

<推進事業>

○ 知恵産業融合センター事業の推進

京都市産業技術研究所に創設した「知恵産業融合センター」では、専任コーディネーターを配置し、知の集積拠点である大学、財団法人京都高度技術研究所をはじめとした産業支援機関と連携しながら、研究開発や人材育成に取り組んでおり、今後、マーケティング支援など更なる取組の充実と機能強化を図る。

・ 研究開発支援

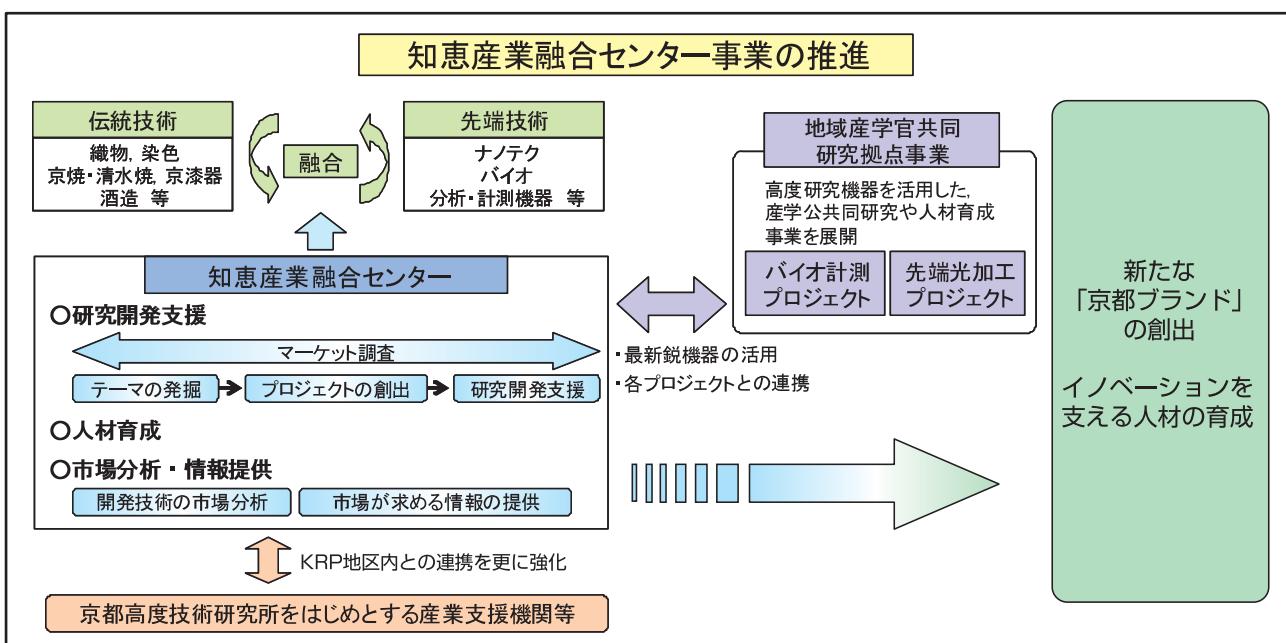
伝統技術と先端技術の融合等による新たなプロジェクトの創出を促進するため、事業化・商品化の可能性が高いテーマを発掘、その研究開発を支援する。

・ 人材育成

持続的、発展的なイノベーションの創出を支える人材の育成を目指し、自社の優れた技術を新たな製品開発や事業展開につなげるための発想や、事業設計手法を学ぶセミナー等を開催する。

・ 市場分析・情報提供

グローバル市場も見据えた新たな顧客を開拓し、産業の競争力を高める製品開発を促進するため、企業等が持つ開発技術の市場分析を行うとともに、市場が求める製品情報を企業に対して提供する。

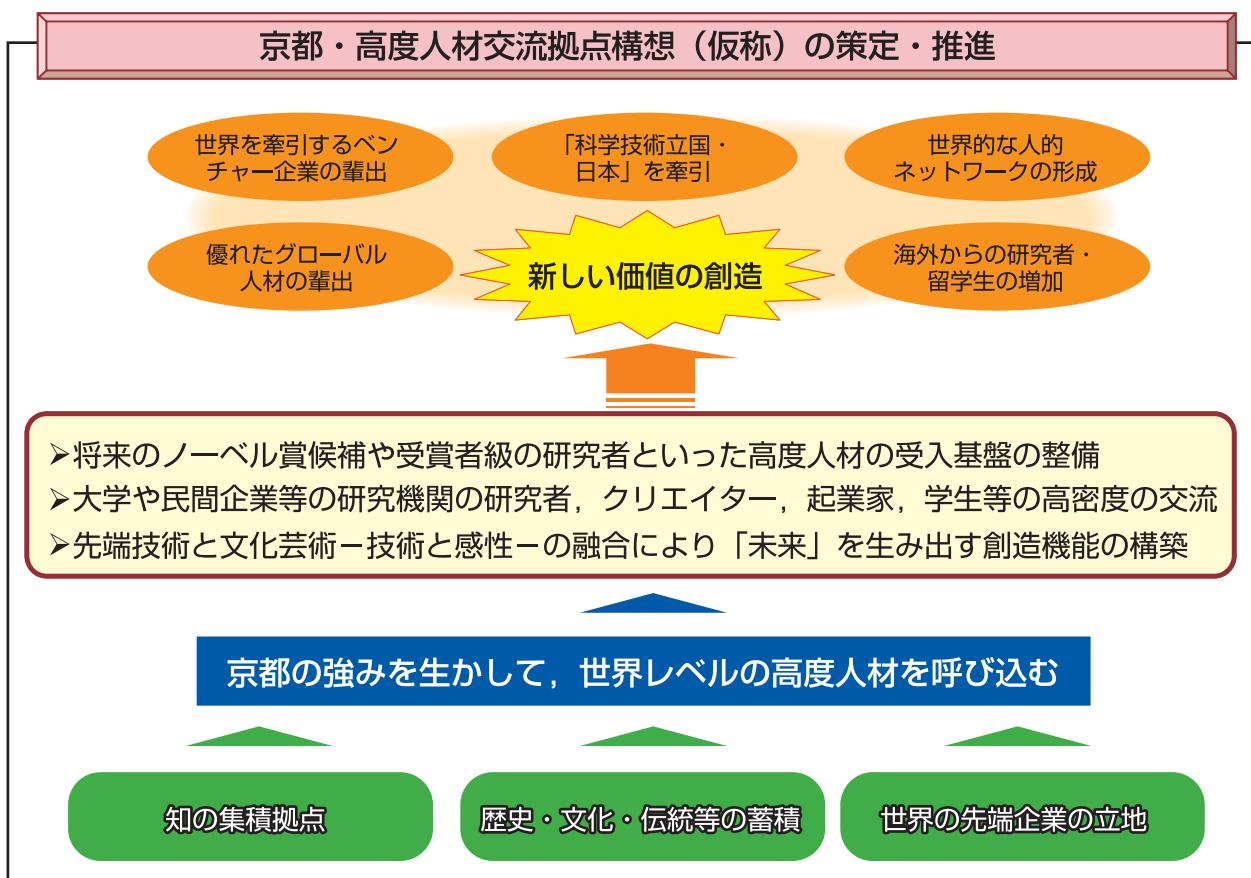


◆ 京都・高度人材交流拠点構想（仮称）の策定・推進【戦略Ⅱ】

京都発の知的交流の場に国内外における世界トップレベルの優れた人材を呼び込み、新たなビジネスの創出や企業間のオープン・イノベーション、グローバル人材^{*}の育成、世界的な人的ネットワークの形成等を図り、様々な分野で価値創造を生み出す「京都・高度人材交流拠点構想（仮称）」を策定・推進する。

<推進事業>

- 「京都・高度人材交流拠点構想（仮称）」の策定・推進構想化に当たっては、次の項目について検討を行う。
 - ・ 将来のノーベル賞候補や受賞者級の研究者といった高度人材の受入基盤の整備（交流拠点施設の整備、インターナショナルスクールとの連携等）
 - ・ 大学や民間企業等の研究機関の研究者、クリエイター、起業家、学生等により構成される高密度の交流ネットワーク機能の構築と、新たなビジネスの創出への支援
 - ・ 先端技術と文化芸術・技術と感性・の融合により「未来」を生み出す創造機能の構築



*グローバル人材

国では、「グローバル化が進展している世界の中で、多様な人々と共に仕事をし、活躍できる人材」と定義されている。

◆ マンガミニクラスター（仮称）の形成【戦略Ⅱ】

京都国際マンガミュージアム^{*}を核に、京都の芸術系大学と連携し、インキュベーション機能^{*}をもった拠点「交流の場」「学びの場」を整備するとともに、第一線で活躍するクリエイター^{*}の育成、有能なプロデューサー^{*}の発掘・養成、新事業創出等を促す各種施策を実施することにより、マンガコンテンツによるクラスター^{*}の形成とコンテンツ産業の振興及び関連産業の発展を促進する。

<推進事業>

○ インキュベーション機能を有する拠点整備及び各種施策の実施

我が国初のマンガ文化の総合拠点である京都国際マンガミュージアムをはじめ、数々の映画のロケ地や撮影所の集積など、様々な地域資源が豊富に存在する京都の優位性を生かし、次代のコンテンツ産業を支える人材を輩出する芸術系大学と連携を図り、世界中からクリエイターが集まるようなインキュベーション機能をもった拠点を整備するとともに、多様なクリエイターや企業等が実際に触れ合い、互いに刺激を与え合う様々な機会を提供する。合わせて各種施策を実施することにより、多様な能力を持った人材供給力の強化、クリエイターと企業との交流による新たなコンテンツビジネスの展開等を促す。

- ・ クリエイターやプロデューサーの養成講座の実施
- ・ クリエイターと地域の企業・事業者との交流・研究事業
- ・ 海外クリエイターとの交流事業
- ・ マンガコンテンツの商業利用促進やマンガ・アニメ等との融合による新事業展開支援
- ・ 首都圏・海外の展示会への出展支援



(写真) 京都国際マンガミュージアム

※京都国際マンガミュージアム

京都市と京都精華大学との共同事業により、マンガ資料を収集・保存し、研究機能、博物館・図書館機能、生涯学習機能、新事業創出・人材育成機能を有する我が国初のマンガ文化の総合的拠点として、平成18年11月、元龍池小学校跡地に開設した。

※インキュベーション機能

一般的には、起業の支援や創業間もない企業の事業が軌道に乗るよう支援を行う機能のこと。
ここでは、企業ではなく、若手クリエイターやプロデューサーへの支援を意味する。

※クリエイター

マンガ・アニメ、映画・映像、ゲームなどのコンテンツ各分野の制作者ることをいう。

※プロデューサー

コンテンツ各分野の作品制作において、企画から完成までを統括する責任者ることをいう。

※クラスター

アメリカで提唱された概念で、「特定分野における関連企業、専門性の高い供給業者、サービス提供者、関連業界に属する企業、関連機関（大学、規格団体、業界団体など）が地理的に集中し、競争しつつ同時に協力している状態」のことをいう。

◆ 南部地域における産学公連携による拠点の整備 【戦略Ⅲ】

低炭素型まちづくりのモデルとして先進的なものづくり企業の活動の場であり、産業集積地域間の広域連携における役割を担うらくなん進都に、未来の京都の活力の源泉となる「知恵産業」の創出にも貢献する産学公連携による研究開発拠点を整備する。

<推進事業>

○ 産学公連携による研究開発拠点の整備

京都市都心部、京都南部から関西文化学術研究都市を結ぶ地域間の広域的な連携の一端を担うらくなん進都に、実用化を目指す産学公共同研究開発を促進させ、新しい市場や雇用を生み出す新技術と新製品を創出する機能を備えた、広域連携の核となる拠点施設を整備する。



(写真) らくなん進都

◆ 中小・ベンチャー企業支援の強化 【戦略Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ】

企業の有する優れたものづくり基盤技術の高度化や新事業創出につながる製品・技術開発などを多様な視点から支援するとともに、成長する海外市場への進出や販路拡大に取り組む中小・ベンチャー企業に対し、あらゆる産業支援機関の海外進出支援事業を活用・融合し、円滑なビジネス展開を支援する。また、社会的課題解決に貢献するソーシャルビジネス^{*}の事業展開に対応した支援などを行う。

<推進事業>

○ 未来創造型企業支援プロジェクトの推進

京都市ベンチャー企業目利き委員会におけるAランク認定企業について、その発掘・育成から事業展開に至るまでの各段階に応じて、一貫したサポートを展開する。

○ 中小企業パワーアッププロジェクトの推進

積極的に経営革新に取り組むオスカー認定企業について、経営、知財、販路開拓をはじめとした企業成長支援を展開する。

○ 中小・ベンチャー企業の技術革新支援の推進

新技術・新製品開発に取り組む中小・ベンチャー企業の事業活動を支援するため、京都の地域プラットフォーム支援の強みを生かし、研究開発段階から販路開拓まで一貫して支援する京都版S B I R^{*}（中小企業技術革新制度）の推進を目指す。

○ 京都型グローバル・ニッチ・トップ企業^{*}への支援

高度な技術革新力や研究開発力をもち、特定分野において国内外で大きなシェアを占めるグローバル・ニッチ・トップ企業やこれをを目指す中小企業を対象に技術支援や経営支援等を総合的に展開する。

○ 海外ビジネス展開支援

中小・ベンチャー企業が国際レベルの競争を勝ち抜き、海外市場を獲得するため、人材育成をはじめ企業の国際化を支援する。

○ 知的財産戦略の推進

中小・ベンチャー企業の革新的な技術や研究成果を、戦略的に保護・活用し、企業の競争力の源泉として経営戦略の中に位置付けるため、中小企業の知的財産活用能力の強化と地域の知財力を高める支援環境整備に取り組む。

※ソーシャルビジネス

社会問題の解決をその目的として収益事業を行う事業体のことをいう。

※S B I R（Small Business Innovation Research 中小企業技術革新制度）

国や特殊法人が研究開発予算の中から新事業の創出につながる新技術の開発のための補助金・委託費等（特定補助金）を中小企業者等に対して交付し、その事業化までを一貫して支援する制度のことをいう。

※京都型グローバル・ニッチ・トップ企業

高度な技術革新力や研究開発力をもち、価格優位性ではなく価値優位性を志向し、特定分野において国内外で大きなシェアを占める中堅・中小企業のことをいう。

○ デザインの戦略的創造・活用支援

デザインと感性を生かしたものづくりの活性化を図るため、新事業、高付加価値製品の創出を目指した戦略的なデザインの創造・活用が促進される支援環境を整備する。

○ ソーシャルビジネスの支援

様々な社会的課題の解決に取り組む企業の起業と成長を支援する。